

「健やか親子21」指標の分析・評価のための第2回中間評価の進め方

(平成21年8月現在)

①各種調査・研究により収集されたデータに基づき、各指標について達成度の分析・評価を行う。

1. 138市町村に依頼し、研究班による乳児健康診査におけるアンケート調査を実施(20項目)
2. 地方公共団体等に対するアンケート調査※1(研究班において集計)(13項目)
3. 既存の統計調査を引用※2(16項目)
4. 関係省庁、関連団体に照会※2(5項目)
5. 厚生労働省内関係部署に照会※2(11項目) 他

※1:EPDS実施自治体への調査も含む

※2:「小児人口に対する小児科医・新生児科医師・児童精神科医師の割合」の指標の「①小児科医」は3.、「②新生児科医」は5.、「③児童精神医学分野」は4. により調査

②健やか親子21推進協議会、地方公共団体、国の取組状況の分析・評価を行う。

1. 研究班による地方公共団体に対するアンケート調査(研究班において集計)
2. 関係省庁、関係省庁に照会
3. 推進協議会への参加団体に対するアンケート調査

③新たなニーズに対する指標の設定について検討を行い、追加する指標について、現状値を明らかにするとともに、今後の目標(値)設定する。

④健やか親子21推進協議会、地方公共団体、国における効果的・効率的な活動方策について検討する。

⑤「健やか親子21」の今後の推進方策について検討する。

⑥「健やか親子」第2回中間評価に関する報告書とりまとめ

「健やか親子21」指標の分析・評価のための調査実施のスケジュールと調査概要

山縣班 平成21年度 調査スケジュール

調査名	対象	調査開始	回収期限	入力開始	入力データ納品
親と子の健康度調査(乳健調査)	138市町村 【配布数】 3、4ヶ月児:8642 1.6歳児:12944 3歳児:12431		7月中 ※8月回収 のところも あり	8月中旬～(予定)	9月下旬(予定)
自治体調査	都道府県 市町村 指定都市、中核市、特別区、保健所設置市	7/10発送	8月14日(金)	8月下旬～(予定)	9月下旬(予定)
思春期やせ症・不健康やせ 頻度調査	全国15校の公立・私立高等学校の3年生女 子:1500人における小学校1年生時からの身 長・体重、ならびに通院・入院履歴等	8月3日	9月初旬	2009/8/3 各協力校を研究協 力者が訪問し、既存 の記録を解析可能 な形式に入力・変換 する。	9月下旬(予定)
EPDSによる産後うつ頻度の 把握に関する調査	EPDSを導入している都道府県・政令市の保 健所112箇所、市町村の保健センター416箇 所におけるH20の単一事業内全数把握デー タ	7月4日	7月29日(水)	8月初旬	9月下旬(予定)

乳幼児健康診査における調査 (親と子の健康度調査)

対象

138市町村の乳幼児健診を受診した児の保護者

調査方法

自記式質問紙

調査項目

- ・妊娠・出産について満足している者の割合
- ・母性健康管理指導事項連絡カードを知っている就労している妊婦の割合
- ・出産後1か月時の母乳育児の割合
- ・妊娠中の喫煙率、育児期間中の両親の自宅での喫煙率
- ・妊娠中の飲酒率
- ・かかりつけの小児科医を持つ親の割合
- ・休日・夜間の小児救急医療機関を知っている親の割合
- ・事故防止対策を実施している家庭の割合
- ・乳幼児のいる家庭で風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合
- ・心肺蘇生法を知っている親の割合
- ・乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合
- ・6か月までにBCG接種を終了している者の割合
- ・1歳6か月までに三種混合・麻しんの予防接種を終了している者の割合
- ・子育てに自信が持てない母親の割合
- ・子どもを虐待していると思う親の割合
- ・ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合
- ・育児について相談相手のいる母親の割合
- ・育児に参加する父親の割合
- ・子どもと一緒に遊ぶ父親の割合
- ・乳幼児の健康診査に満足している者の割合

自治体調査

対象

都道府県、市町村、指定都市、中核市、特別区、保健所設置市

調査方法

自記式質問紙

調査項目

- ・初期、二次、三次の小児救急医療体制が整備されている都道府県の割合
- ・事故防止対策を実施している市町村の割合
- ・院内学級・遊戯室を持つ小児病棟の割合
- ・慢性疾患児等の在宅医療の支援体制が整備されている市町村の割合
- ・周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制が確立している保健所の割合
- ・育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査を行っている自治体の割合
- ・乳児健診未受診児など生後4か月までに全乳児の状況把握に取り組んでいる市町村の割合
- ・食育の取組を推進している地方公共団体の割合
- ・子どもの心の専門的な診療ができる医師がいる児童相談所の割合
- ・育児不安・虐待親のグループの活動の支援を実施している保健所の割合
- ・思春期外来(精神保健福祉センターの窓口を含む)の数
- ・思春期保健対策に取り組んでいる地方公共団体の割合

思春期やせ症・不健康やせの頻度調査

対象

平成20年度時の高校3年生の女子の記録
(全国の高等学校十数校を対象に各100名程度)

調査方法

児童生徒健康診断表を用いた後向き調査

調査項目

不健康やせと思春期やせ症の頻度

- ・小学校1年～高校3年(平成20年度時点)までの毎年4月に行われる学校健診で得られた身長・体重測定値を過去にさかのぼって収集し、成長曲線上にこのデータの変移をプロットし、不健康やせを判定する。
- ・身長体重データの収集と併せて、養護教諭に対し、「思春期やせ」が疑われるケースについて、「医療機関受診の有無」を問い合わせ、また次の6項目についてヒアリングを行う。
「徐脈(60/分以下)」、「無月経」、「ダイエット・食行動異常」、「過活動」、「肥満恐怖、やせ願望」、「やせていることを否定」。

EPDSによる産後うつ頻度の把握に関する調査

対象

EPDSを導入している都道府県・政令市の保健所、市町村の保健センターの合計518カ所

調査方法

郵送法による質問紙調査

調査項目

産後うつ病の発生率

EPDSを用いての(単一事業における)全数対象スクリーニングの実施の有無

上記スクリーニング実施の時期と事業名

スクリーニング対象者の最も多い事業

EPDSに関する基礎情報と結果

- ・管轄内の出生数
- ・事業対象者数
- ・スクリーニング対象者が最も多い事業時のEPDS適用対象者数
- ・上記スクリーニングの結果
- ・EPDSの実施者

EPDSの結果を受けてのフォロー

その他、独自に行っている産後うつ予防を目的とした取組